

敗北エンドで
レオナ姫が
やられちゃう話



※ダイの大冒険 終盤のネタバレを含みます

ククク……
余の勝ちだな

勇者ダイ亡き今
もはやこの地上に
余を止められる者は
存在せぬ……

くっ……よくも
ダイ君をつっ!

さて、敗れた者を
服従させるのは
勝者にとって
当然の権利……

大人しく
余のモノとなれ
レオナ姫よ

……ふざけないで!
たとえ……ダイ君達が
倒されたとしても
誰があなたになんて!

んひいっ!?

な、何なのこれ!?
急にカラダが
熱くなって……♡

嘘でしょ……私
初めてなの!?

そして当然……
大きさも力強さも
並みの人間などとは
比べ物にならぬ

ククク……どうだ
余のマラの味は?

余の暗黒闘気で
子宮を刺激されて
堕ちない女はいない

姫がいかにかい気丈でも
余のマラの前では
メスの本性を暴かれ
よがり狂うしかない

んっひらひらっ！
な、何か来ちゃうっ！

なのは何で……っ
カラダが勝手に
感じちゃうのお!!

ククッ

それこそが
メスの本性よ

口では否定しても
本能が強いオスに媚び
股を濡らしてしまっ

くっ……
どうして

この男はダイ君の
皆の仇でっ、絶対に
倒さなきゃいけない
敵なのに……ッ！

憎むべき仇と交わり
こうも痴態を晒すとは
これではダイ達も
浮かばれんな

とはいえ……

い、嫌あああッ！
言わないでえッ！

ヒッ

ヒッ
ヒッ

ご……ごめんね
ダイ君……みんな

皆の仇を取らないと
いけないのに……
こんなヤツに簡単に
感じさせられて

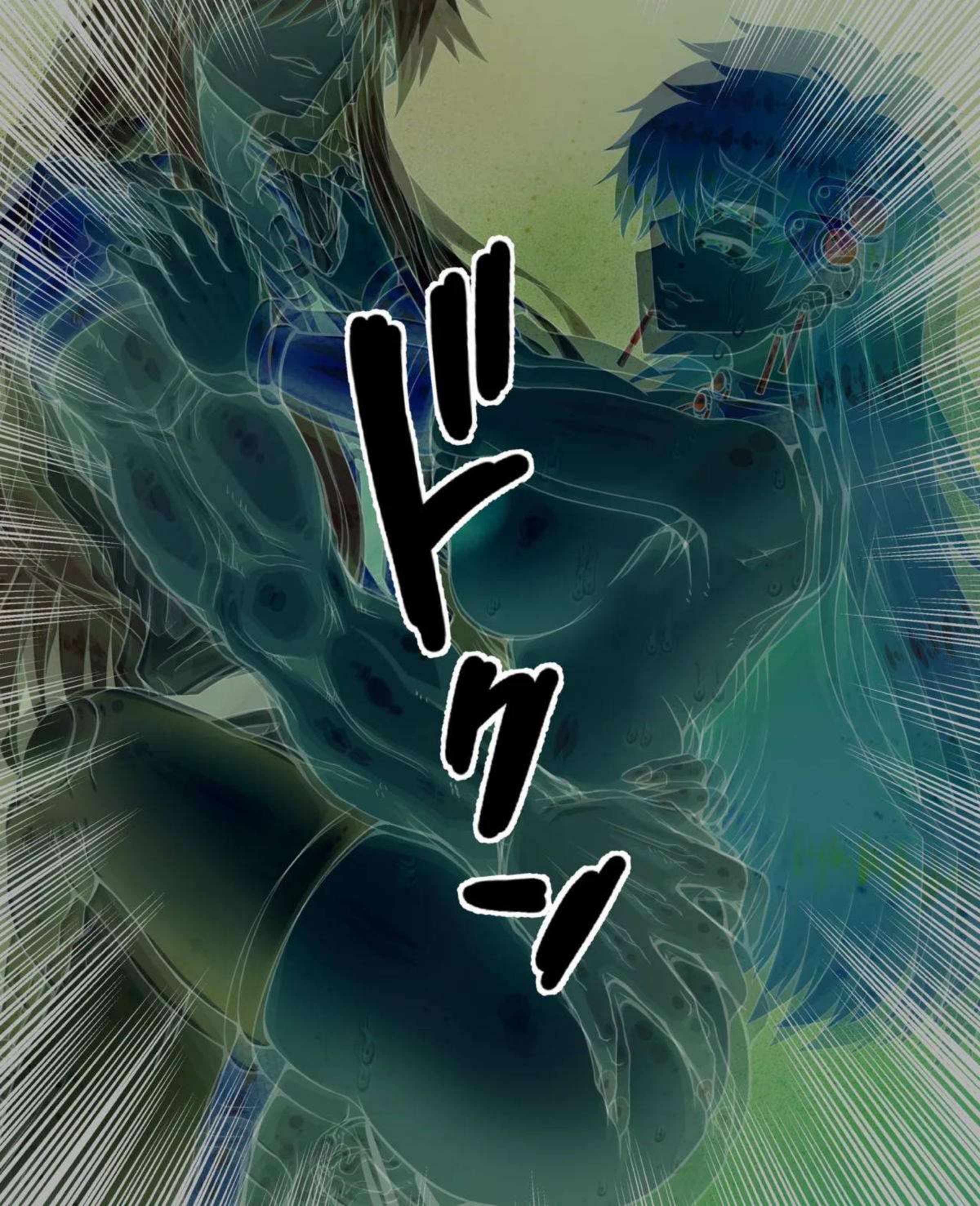
皆の仲間として……
王女として情けない
でも……せめて

せ……せめて
無意味だとしても
私の命を使って
最後の一撃を……

ほう……
自己犠牲呪文を
使うつもりか？

その高潔さ、強い意志
流石はアバンの使徒と
いったところか

だが……



なっ……なにこれえ
全身がさらに
敏感になってええッ♡

余の暗黒闘気で
全身の細胞を刺激し
強制発情させた

人同士のまぐわいでは
到底味わえぬ喜び
魔の快樂の味を
その身に刻んでやる

余の寵愛が
どれほど甘美か
思い知れば

いかに姫といえど
愚かな抵抗は諦め
自らの意志で
余の愛玩物となる
運命を受け入れよう

いやあああっ！
快樂なんていらない！
愛玩物になんて
なりたくないのにい！

ハア

ハア

キュン

キュン



ひああっ♡

やらあっ♡

こ、腰がガクガクして
頭の中真っ白になるっ♡

たくましいチンポで
子宮突かれるたびにっ♡
お、オマンコが切なくて
疼きが止まらないのお♡

な……なのに
まだ何かくるっ♡

こ、これまでの冒険
ううん、人生の全部が
どうでもよくなる程の
強烈な快楽の波っ♡

イヤ……来ないでっ！
こんなの無理いっ♡
スゴすぎて、私が私で
なくなっちやうう！

すちゅっ

すちゅっ

すちゅっ



んっぎいらい♡
イツひやうう♡

だ、大魔王のチンポで
肉穴ブチ犯されて……♡
悔しくて、みじめで……
なのに……何でこんなと
シアワセなののおお♡

クク……

王族としては
随分と品のない
喘ぎようだな

だが無理もない
余のマラを突き立てられ
子種汁を注がれては
どんな女も我を忘れて
よがり狂うのだからな



さて……随分と派手に
絶頂したようだが
これで終わりではないぞ？

むしろ……ここからが
本当の快樂の始まりだ

あっ……♡

クク……喜ぶがいい、姫よ
今からこの鬼眼の力で
お前を作り替えてやろう

余の女として相應しい
強く美しい淫魔へと、な

いん……ま？

そうだ……余を愉しませ
余のマラに絶対の忠誠を誓う
残忍で淫らな魔の眷属へと
生まれ変わるがいい！

うう……な、何が
このカラダは……？

クク……
どうだレオナ姫？

余の力で人を捨て
忌むべき魔の存在へと
生まれ変わった気分は

い……らや
わ、私は……

イヤですわ……
バーン様だったら♡

「レオナ姫」などと
堅苦しい呼び方は
おやめください♡

私はバーン様の下僕
この存在の全てを懸けて
バーン様にお仕えする
淫らで卑しい愛玩生物
なんですからあ……♡

キビビビ♡

ククク……
そうであつたな

良いぞレオナ……
己の分をわきまえた
忠実な臣下には
褒美を与えてやろう

あっはあああっ！
バーン様のチンポ
ぎもぢいいいっ！

レオナはバーン様の下僕♡
このチンポに媚びる為なら
どんな邪悪な行為でも
喜んで実行する……あっ♡
最低の裏切り王女なのおっ♡

クク……
面白……

では、お前の手で
祖国パプニカを
滅ぼしてみせよ

見事に務めを果たせば
お前に魔軍司令の座と
更なる禁断の快楽を
与えてやろう……

はいっ、お任せください！
バーン様のご命令とあらば
必ずやパプニカの民を
皆殺しにしてみせます！









